

# 旧大山小学校跡地活用方針

## 区有地と民有地の交換整理へ

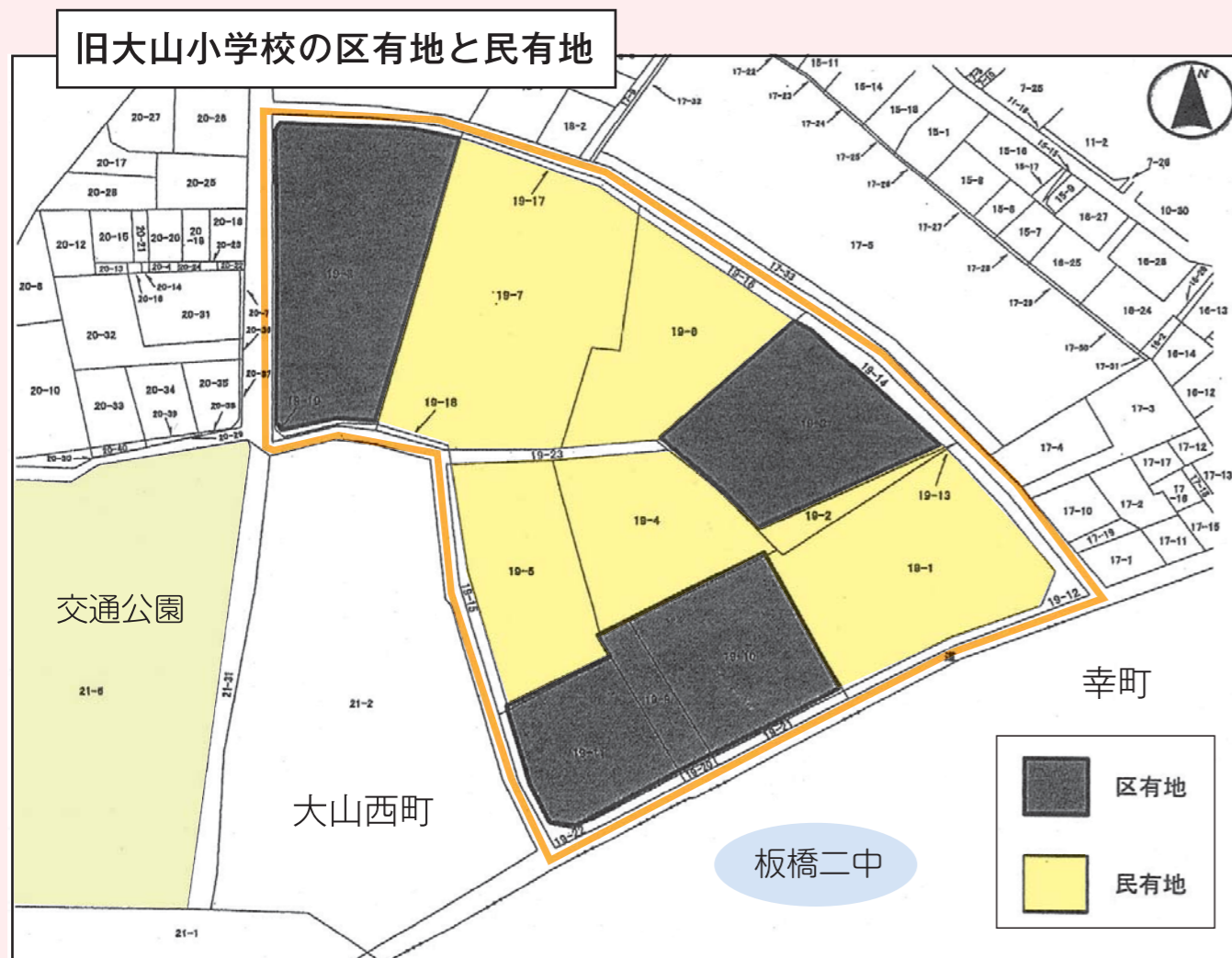
平成26年3月末で閉校となった以降、跡地活用について公共的・公益的事業者による区有地と民有地の一体的な利用に向けて調整して参りましたが、昨年、民有地の所有権がマンション業者に移ったことで、その事業者との交渉となりました。

このマンション業者は、本年4月以降出来るだけ早い時期に、分譲マンションの建設に着手したいとの意向を示していた中で、本年1月末までに、この民有地を公共的・公益的事業者が取得できるのならば売却も検討するとしていました。しかし、残念ながらそのような状況には至らず、4月以降は、区とマンション業者それぞれが別々に跡地活用を図ることとなります。

現在、下図のように区有地と民有地はモザイク状に入り組んでいるので、お互いに効果的・効率的に跡地利用をしていくためには、区有地と民有地の交換整理をして、それぞれ一団の土地形状とする方向で協議して参ります。



旧大山小跡地



民有地については、分譲マンションになるのは避けられないと思われませんが、約4000㎡の区有地の跡地利用については、地域要望や区の行政需要を勘案して、十分な時間をかけて、計画案を作成していかねばなりません。上記の土地が、縦に2分割になるのか、横に2分割になるのか?はこれからの交渉次第となります。

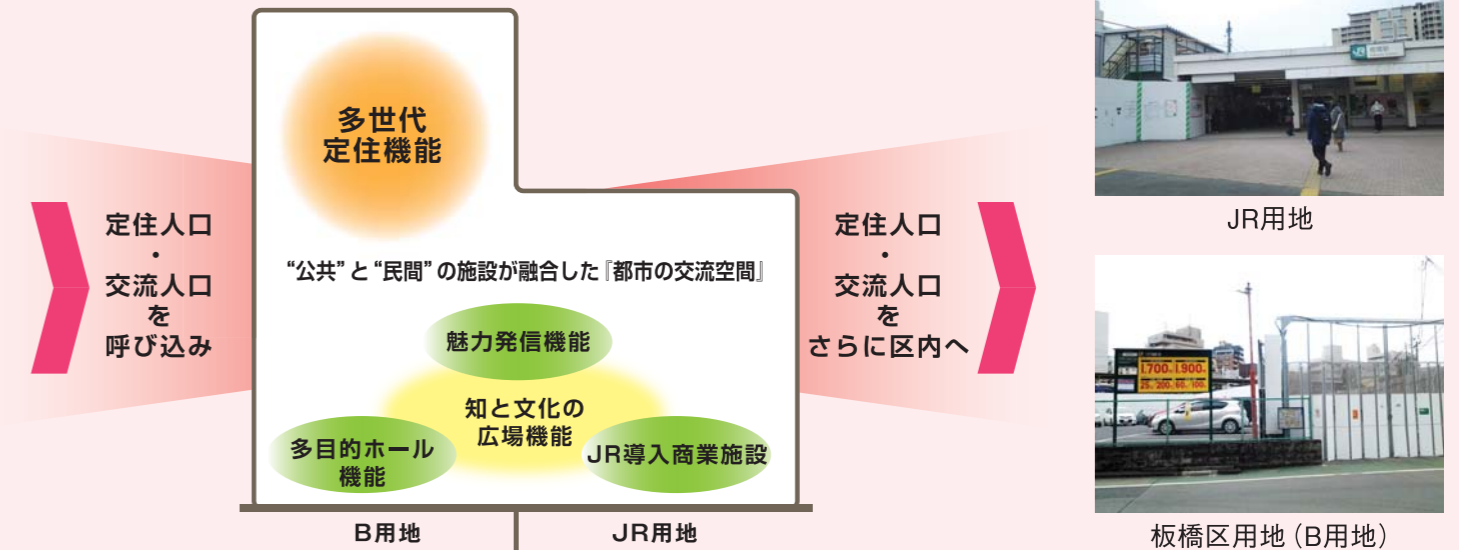
# 板橋駅前用地(B用地)とJR用地との一体的活用の方向性

## 魅力発信と交流空間の創出による区全体の交流人口・定住人口の増加につなげる戦略拠点の整備

長い間、多くの地域住民の要望がありましたJR板橋駅周辺地域の活性化に向けて、北区側・板橋区側のバリアフリー化並びに駅舎の改築と同時に板橋区用地との一体活用を検討中です。

板橋駅西口再開発事業は、すでに地域の皆様のご尽力で検討が進んでいますが、それとは別に板橋区とJR東日本との間でB用地とJR用地の一体的活用について基本合意書を本年4月に締結するべく協議を重ねています。

### 一体的活用の方向性のイメージ



### 知と文化の広場機能&魅力発信機能

- ・カフェなどを利用しながら読書を楽しみ、文化に触れる空間
- ・板橋での生活を魅力的に紹介し、板橋でのライフスタイルを区内外にPR
- ・企業、大学、研究機関、区民、団体などの「知」や「文化」の分野を越えた交流・協働

### 多目的ホール機能

- ・レセプション、展示会、講演会、パブリックビューイングや様々なイベントに利用
- ・区の魅力を発信するイベントスペースとしての活用
- ・災害等により公共交通機関が麻痺した場合の一時滞在施設としての活用

### JR導入商業施設

- ・JR導入商業施設と連携をとれるよう、JR東日本と協議していく

### 多世代定住機能

- ・マンションや滞在型施設など幅広い世代が定住・滞在可能な施設整備の検討
- ・基本テーマを理解し、協力してもらえ民間事業者の募集の検討
- ・板橋駅西口再開発事業検討地区で整備される住機能との相乗効果を見込んでいく